

ロイロノートを用いた演習授業

3年生の演習授業において、ロイロノートを利用して課題の提出、演習、問題配信等を行っている。

1. 予習問題(プリント)の提出

授業で取り扱う単元の予習プリントを予め配布し、事前に解いたものを撮影して提出箱に提出をさせている。×切は授業開始時間とし、遅れた者は減点。ロイロノート「管理ページ」→「授業」→「提出箱」→「提出状況ダウンロード」を開くと、生徒一人ひとりの提出状況（提出、未提出、遅延）が一覧になるので簡単に点数化することができる。

2. 問題演習の提出と解説

指名した生徒に、ノートに解いた問題をロイロノートで自分に送らせ、その画像を画面配信しながら解説を進める。適宜黒板も利用することで内容を補ったり別解を示したりすることができる。ノートを撮影したものは、しばしばコントラストが低かったり、歪んでいたりするので、時間のある時は画像処理ソフトで修正を加えておく。

以前はスクリーンに映しながら授業をしたこともあるが、前述の理由で見にくいことが多いので、今はすべて画面配信で行っている。

(参考)画像処理には Portable PhotoScape を利用

3. 補充問題の配信

ロイノートを使っているので、類問や発展的な問題を配信することができる。習熟度クラスによって問題のレベルを変えたり、授業の進度次第で問題数を増減したりできるので、あらかじめStudyAidで問題を作ってPDFに書き出したものを、そのたびに選んで配信をしている。

また、Web カードを配信することでシームレスに GeoGebra に誘導したり、必要な参考となる Web サイトを紹介したりすることもできるので便利である。

残念ながら Grapes の画面等の配信はできないので、キャプチャーしてカードにするしかない。動きを見せたいときには複数カードを使ってプレゼンテーションの時間調整でアニメーションっぽく表現するしかない。工夫の余地はある。

(参考)カードの再生・録音可能時間の設定方法

